

# 多賀工業会 東京支部会報

2018年5月 第21号



〈 湘南海岸夕照 〉

茨城大学工学部同窓会・多賀工業会東京支部

# 挨拶

支部長 小林 一（昭 38 学機）



多賀工業会東京支部の皆様には、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

日頃より支部の運営にご理解並びにご支援をいただき、心からお礼申し上げます。

東京支部も、会員の高齢化と若い人の加入者不足により、年会費等の収入が増加せず、三年後には繰越金が底をつく状況が予測されるまですべてになってまいりました。

そこで、本年から支出の大幅な削減策の実施をスタートさせます。

## ◇経費の削減

会議費、交通費、他支部との交流費、同好会への援助費を見直し削減します

## ◇同窓の集いの運営費の削減

総会と懇親会を一つの会場にて行ない会場費を削減、講演会は取りやめます  
時間も午後からの3時間以内に短縮します

## ◇会報発行・発送に関する費用の削減

会報をお届けする方を約500名から約350名に絞り込みます

（過去5年間に遡り、年会費の納入者・同窓の集いや同好会活動等に参加いただいた方々  
とします）

なんとしても、これから3年で支部の財政を健全な状態に取り戻したいと思っております。会員の皆様のご理解とご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

最後に、支部会員の皆様の益々のご活躍と、ご健勝を祈念申し上げます。

## 表紙の写真：＜湘南海岸夕照＞

撮影地：湘南辻堂海浜公園（2017年9月）

夏のおわりの風の強い日でしたが富士山が美しく、人物をシルエットにして画面を作ってみました。

三好 成實（昭 39 学機）

# 平成 30 年度(第 38 回)多賀工業会東京支部同窓の集いご案内

1. 日 時 平成 30 年 7 月 14 日 (土) 午後 0 時 30 分から
2. 場 所 アルカディア市ヶ谷 (右図参照)  
東京都千代田区九段北 4-2-25  
電話 03-3261-9921 (代表)
- 交 通 : JR 市ヶ谷駅 (中央線)下車徒歩 3 分  
地下鉄市ヶ谷駅 (有楽町線、南北線、  
都営新宿線の A1 出口)
3. 会 費 8,000 円 (当日受付にて申し受けます)  
女子会員は 4,000 円とします。
4. 総 会 午後 0 時 30 分～午後 1 時 00 分
5. 懇親会 午後 1 時 10 分～午後 3 時 00 分



6. 写真展 総会の会場内に展示します。[一般会員の方からの出展を歓迎します。陳列の都合上事前に写真部連絡窓口 (17 頁参照) の小林渡までメールで連絡下さい。]
7. お願い 出欠のご返事は 6 月 25 日 (月) までに同封のハガキにてお願いします。  
出席連絡後予定変更で欠席となる場合は、7 月 6 日 (金) までに連絡をお願いします。  
それ以降の欠席には会費のキャンセル料を頂くことになります。  
また、出欠にかかわらず、お手数でも同封の振込用紙にて、年会費 2,000 円の振込みをお願い申し上げます。
8. お問い合わせ先  
飯塚 英一 (昭 46 学電) TEL : 045-755-1588 E-mail : elias\_ii.ggr@f5.dion.ne.jp

## 2018 年 第 21 号 目次

挨拶	-----	小林 一	-----	1
報告	平成 30 年度 (第 38 回) 同窓の集い開催のご案内	事務局	-----	2
	第 21 号目次	事務局	-----	2
	平成 29 年度 (第 37 回) 同窓の集い報告	囲碁部	-----	3
	平成 29 年度 (第 37 回) 同窓の集い写真集	写真部	-----	4
	平成 29 年度 (第 37 回) 講演会概要・出席者名簿	囲碁部	-----	5~6
	平成 29 年度東京支部会計報告	佐藤 将彦	-----	7
	平成 30 年度東京支部会計予算 (案)	佐藤 将彦	-----	7
	『多賀工業会フォーラム・IN 東京』開催	大泉 雅靖	-----	8
随筆	“ピラミッドとミイラの夢”	坏 弘	-----	9
	千葉卓三郎の足跡を訪ねて	小池 利彦	-----	10
	英爺ライダー漫遊記	飯塚 英一	-----	11
	自分と家族と、携帯の成長	飯高 剛士	-----	12
支部めぐり	水戸勝田支部の紹介	飯田 陽久	-----	13
同好会活動	囲碁部	田中栄太郎	-----	14
	ゴルフ部	佐藤 将彦	-----	15
	山遊会	小森 廣樹	-----	16
	写真部	小林 渡	-----	17
	平成 29 年度同窓の集い作品展出展写真から	写真部	-----	18
	女子会	鈴木 葉子	-----	19
	テニス部	河上 弘一	-----	20
お知らせ	ホームページ編集室より・編集後記	ホームページ・会報編集室	-----	21
	平成 29 年度会費納入者・寄付者名簿	飯塚 英一	-----	22
協賛広告	ジュン・ホーム、いすゞ電機工業所、大協印刷		-----	裏表紙

# 平成 29 年度多賀工業会 東京支部「同窓の集い」

囲碁部 田中栄太郎 (昭 40 学化)

東京支部「同窓の集い」は 7 月 8 日 (土) にアルカディア市ヶ谷で開催されました。

来賓として当会本部会長の塩幡宏規氏をはじめ、各支部 (千葉県、埼玉、水戸勝田、静岡、仙台、および日立総合) から代表の方々をお迎えし、出席者総数 70 名となりました。

お忙しい中、ご出席いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。なお、スナップ写真は 4 頁に、出席者一覧は 6 頁に掲載しています。

以下に概要を報告致します。

## ◇第 1 部：第 37 回東京支部総会 (10 時 00 分～10 時 45 分 於 7 階・琴平)

太田悦子 (昭 60 学電) 幹事の司会で、まず例年通り亡くなられた会員へ黙祷を捧げました。小林一支部長による挨拶後、



<司会の太田幹事>

ご来賓を代表して塩幡多賀工業会会長にご挨拶を頂き、その後総会の議事に入りました。



<小林支部長の挨拶>



<塩幡会長の祝辞>

### 議事

1. 支部活動報告 大泉 (昭 40 学精) 幹事長
  2. 会計・予算報告 佐藤 (昭 43 学子) 会計幹事
  3. 会計監査報告 田中 (昭 40 学化) 会計監事
  4. 支部会則の改訂 大泉 (昭 40 学精) 幹事長
- 質疑応答を経て、原案は承認されました。

## ◇第 2 部：講演会 (10 時 55 分～12 時 00 分 於 7 階・琴平)



<熱く語る佐々木講師>

演題：「危険な不整脈と放置してもよい不整脈」

講師：佐々木登喜夫氏 (昭 38 学電)

概要：佐々木氏は日本光電工業 (株) に入社後、心電計等の医療機器開発研究に従事しての豊富な経験から不整脈に関する詳細な解説について事例を交えて講義されました。

## ◇第 3 部：懇親会 (12 時 10 分～14 時 30 分 於 4 階・鳳凰)



<司会の田中幹事>



<挨拶と乾杯・上月顧問>

講演会場から宴会場に席を移動し、田中 (昭 40 学化) 幹事の司会で開催された。上月秀俊 (昭 36 学機) 顧問の歓迎挨拶と乾杯音頭で開始しました。出席者各位は 7 つの円卓ごとに着席し食事と飲み物を交えて懇談を楽しみました。総会初参加者を紹介し、スピーチを頂きました。余興として森田徹郎 (昭 42 学電) 副幹事長の紹介で、鶴田昭則氏 (茨城大学 昭 42 教育学部) によるテノール歌唱 3 曲 (◆椰子の実 ◆帰れソレントへ ◆オーソレミオ) では、喝采の拍手が鳴り響きました。終盤には森田徹郎氏のフルートによるヴォカリーズの演奏と校歌の伴奏があり、最後に吼洋寮寮歌を斉唱し、小林渡副支部長 (昭 38 学電) の中締めで閉会となりました。



<鶴田氏のテノール歌唱>



<森田氏のフルート演奏>

## ◇写真展 (9 時 30 分～12 時 00 分 於 7 階・琴平)

総会会場の写真展 (写真部主催) は、19 作品が



展示されました。作品の中には主なる美術展での入選作品が多数含まれていました。出展作品は 18 頁に掲載しています。

# 平成 29 年度(第 37 会)同窓の集い写真集



<懇親会 1 来賓の皆さんを囲んで>



<懇親会 2 昭和 30 年代前半卒の皆さん>



<懇親会 3 昭和 38 年卒中心の皆さん>



<懇親会 4 昭和 38 年前後卒の皆さん>



<懇親会 5 昭和 36~38 年卒の皆さん>



<懇親会 6 女性会員を囲んで>



<懇親会 7 昭和 44~47 年卒の皆さん>



<懇親会 8 比較的若い世代の皆さん>

# 平成 29 年度「同窓の集い」 講演会概要

## 「危険な不整脈と放置しても良い不整脈」

講師 佐々木 登喜夫 氏 (昭 38 学電)

### 略歴

- ◇昭和 38 年 4 月 日本光電工業 (株) 入社
- ◇～昭和 47 年 3 月 同社電気研究部で心電計、  
分娩監視装置、医用電子計算機の開発に従事

### 講演概要

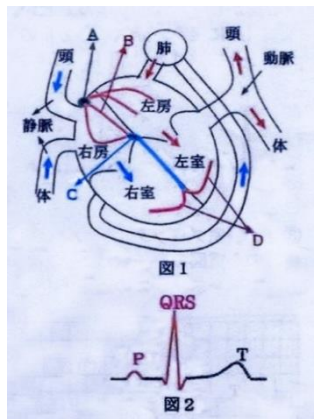
#### 1. 心電図を理解する上で必要な心臓の解剖と生理

心臓はポンプ作用を行う筋肉と収縮をコントロールする刺激伝導系からなり、刺激伝導系は交感神経、迷走神経によりコントロールされ、心臓は収縮するごとに拍出される血液量は約 70ml で 1 回拍出量といい、1 分間に約 70 回収縮して、心拍数という。1 分間に約 5l の血液が心臓から拍出され、心拍出量という。

#### 2. 心臓のはたらき

##### 1) 心電図の発生

心房の筋肉が収縮を始めるときの電気信号を P 波、心室の筋肉が収縮を始めるときの電気信号を QRS 波という。P 波が出ないとき心房の筋肉が収縮していない。QRS 波が出ないとき、心室の筋肉が収縮していないので、血液は心臓から流れていない。その状態が 3～5 秒間続くとめまい、5～15 秒間続くと失神、15 秒以上で痙攣、30 秒以上で呼吸停止、3～5 分で死に至る。



<配布資料の一部>

##### 2) 不整脈を理解するメリット

不整脈というと、良くない病気のように思われるが治療の必要のないものも多い。治療の必要のない不整脈に抗不整脈薬を使うと、危険な不整脈を誘発したり、心臓の機能が低下することもある。治療の必要な不整脈と、治療の不必要な不整脈の名前がわかっているだけで、医師の説明が理解でき、正しい治療を受けられる。

#### 3. 危険な不整脈

##### 1) 恐ろしい不整脈

QRS 波がなく、くずれた SIN カーブの波形が出る。心室がでたらめに収縮し、心臓から流れ出る血液量はゼロになる心室細動という、恐ろしい不整脈である。この状態が続くと 3～5 分で死に至るので大きな声で体を揺さぶると蘇生することもある。胸部叩打法、AED 等による治療が必要になる。



<熱弁を揮う佐々木講師>

##### 2) 心拍数が 60 以下になる不整脈(徐脈性不整脈)

3 度房室ブロック、2 度房室ブロック、洞停止、洞徐脈は心拍数が減少し、心拍出量も減少するので、だるく疲れやすくなり、めまいや失神を起こすことがあるのでペースメーカーを使用する。

##### 3) 心拍数が 100 以上になる不整脈(頻脈性不整脈)

心室性頻拍は心拍数が 200 を超えると失神することがあり、心室細動に移行することがある。抗不整脈薬の静脈注射か、電気的除細動の適応となる。発作性上室性頻拍の患者は息を止めて正常にする方法等を知っていると有効。緑内障の人はタブーである。カテーテルアブレーションの治療で頻拍がおきなくなる。心房細動は、心房が不規則に収縮して心拍出量が約 25%低下する。それを補うために心拍数が増加するので動悸や胸苦しさを感ずる。時々起こるのを発作性心房細動といい、カテーテルアブレーションで治療する必要がある。心房内に血栓が無いことを確認して電気的除細動を使用することもある。放置すると慢性心房細動になり治療が困難になる。また心房に血栓が発生する恐れがあるので、抗凝固薬(バファリンなど)を生体使用するようになる。洞頻脈は食事、運動、緊張や発熱でみられる。洞頻脈の治療は不必要で脱水、出血や急性心筋梗塞などが原因のときはその原因を治療する。

#### 4. 治療の不必要な不整脈

1 度房室ブロックは自覚症状もなく、治療の必要もない。上室性期外収縮は喫煙、ストレス、過労、睡眠不足等が原因。心臓がドッキンとなり大砲音が聞こえる等の不快感を訴え、ノイローゼになる人もいるが、治療の必要がない。心室性期外収縮は上室性期外収縮と同じ原因で発生し、基本的に治療の必要がない。心筋虚血、電解質異常、薬剤、中枢神経系の疾患などがあって心室性期外収縮が多発すると心室性頻拍や心室細動に移行することがある。治療の不必要な不整脈も体の状態によって危険度が変わります。医師の指示に従ってください。

# 平成 29 年度多賀工業会東京支部「同窓の集い」出席者名簿

## 〈来賓〉 9 名 (敬称略)

塩幡 宏規 多賀工業会 本部長 (昭 47 院精)  
綿引 貞男 千葉県支部 支部長 (昭 38 学電) 新江 眞 静岡支部 支部長 (昭 44 学機)  
高橋 伸二 埼玉支部 副支部長 (昭 41 学機) 記野 秀一 仙台支部 幹事 (昭 58 学電)  
北條 勝彦 水戸勝田支部 副支部長 (昭 37 学機) 磯崎 公郎 日立総合支部 支部長 (昭 34 学原)  
佐々木 登喜夫 講演会講師=支部会員 (昭 38 学電) 鶴田 昭則 特別出席=テノール独唱 (昭 42 教音)

## 〈会員〉 61 名 (敬称略)

明石 和夫 (昭 22 専金)	後藤 紀夫 (昭 38 学電)	森田 徹郎 (昭 42 学電)
海老原 和 (昭 24 専通)	小林 渡 (昭 38 学電)	佐藤 将彦 (昭 43 学子)
鈴木 日出男 (昭 30 学原)	坂野 栄 (昭 38 学電)	角田 勇 (昭 43 学子)
桧山 邦良 (昭 30 学機)	佐々木 登喜夫 (昭 38 学電)	宇塚 光男 (昭 45 学電)
三本木 武 (昭 30 学金)	寺内 賢一 (昭 38 学電)	小滝 麟太郎 (昭 45 学電)
山崎 慎一郎 (昭 31 学原)	橋本 政巳 (昭 38 学電)	藤枝 伸一 (昭 45 学子)
矢野 睦男 (昭 32 学原)	海老原 雄二 (昭 38 学金)	伊藤 茂 (昭 45 学精)
上月 秀俊 (昭 36 学機)	大塚 進 (昭 38 学化)	黒澤 郁雄 (昭 45 学精)
森永 隆宏 (昭 36 学機)	白石 道彦 (昭 38 学化)	飯塚 英一 (昭 46 学電)
飯村 卓郎 (昭 36 学電)	高木 二郎 (昭 38 学化)	今富 久雄 (昭 46 学金)
小宅 仁 (昭 36 学電)	矢部 功一 (昭 38 学化)	五十嵐 喜良 (昭 47 学子)
鈴江 芳雄 (昭 36 学金)	磯部 亮 (昭 38 学精)	金子 芳久 (昭 48 学機)
上田 正雄 (昭 37 学電)	矢嶋 國男 (昭 38 学精)	岸添 義彦 (昭 50 学精)
阿部 徳治 (昭 37 学化)	原 俊彦 (昭 39 学電)	加藤 清 (昭 50 院精)
小林 一 (昭 38 学機)	田中 栄太郎 (昭 40 学化)	小澤 喜宏 (昭 53 学子)
駒場 方耀 (昭 38 学機)	大泉 雅靖 (昭 40 学精)	加藤 邦治 (昭 53 学子)
丹下 宏 (昭 38 学機)	寺 紘一 (昭 40 学精)	太田 悦子 (昭 60 学電)
徳江 景英 (昭 38 学機)	青野 潔 (昭 41 学化)	鈴木 葉子 (昭 62 学化)
箱崎 光政 (昭 38 学機)	岡本 實 (昭 41 学化)	東 學 (平 08 院生)
長谷川 幸夫 (昭 38 学機)	橋川 隆夫 (昭 41 学化)	
兼子 八郎 (昭 38 学電)	矢島 勝司 (昭 41 学化)	

本同窓の集いに参加されました、多賀工業会会長・塩幡宏規 様は平成 29 年 12 月に、  
元東京支部支部長・三本木 武 様 (昭 30 学金) は平成 30 年 1 月に逝去されました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。〈合掌〉

御出席いただき

どうもありがとうございました！

平成29年度多賀工業会東京支部会計報告

収入の部		平成29年1月1日～平成29年12月31日			(単位:円)
費目	予算	実績	予算差	摘要	
年会費	350,000	402,000	52,000	実績201口(145名)	
本部援助金	183,700	183,700	0		
同窓の集い会費	560,000	602,000	42,000	70名、フォーラム参加費(34,000円)含む	
広告料	30,000	30,000	0	2件	
寄付・利息	-	71,478	71,478		
<b>収入の部計</b>	<b>1,123,700</b>	<b>1,289,178</b>	<b>165,478</b>		
前年度繰越金	658,165	658,165	0		
<b>合計</b>	<b>1,781,865</b>	<b>1,947,343</b>	<b>165,478</b>		
支出の部					
同窓の集い会費	550,000	519,688	-30,312		
総会場・懇親会費		461,181			
その他諸費用		58,507		年費はがきによる事前通知など	
会報費	430,000	378,311	-51,689	A4版28頁全カラー;600部発行	
会報印刷費		324,571			
会報配送費		41,000			
編集雑費		12,740			
会議費	100,000	183,311	83,311	定例幹事会4回、その他収支改善会議など計17回	
交通費	100,000	102,129	2,129	本部・5支部総会	
本部・支部総会参加交通費		16,692			
一般交通費		85,437			
交流費	230,000	222,538	-7,462		
本部・支部総会参加会費		50,000		本部・5支部総会参加	
同好会援助		160,000		6同好会・女子会支援	
雑費		12,538			
振込み費	10,000	12,090	2,090		
<b>支出の部計</b>	<b>1,420,000</b>	<b>1,418,067</b>	<b>-1,933</b>		
繰越金	361,865	529,276	167,411	三菱UFJ銀 ¥236,771 ゆうちょ銀 ¥246,666 現金 ¥45,839	
<b>合計</b>	<b>1,781,865</b>	<b>1,947,343</b>	<b>165,478</b>		

以上の通り、報告致します。

平成30年 1月23日

会計幹事

佐藤 将彦

監査の結果、上記に相違ないことを認めます。

平成30年 1月23日

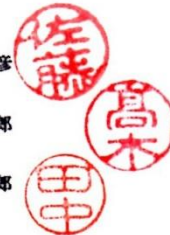
会計監事

高木 二郎

平成30年 1月23日

会計監事

田中栄太郎



平成30年度多賀工業会東京支部会計予算(案)

収入の部		平成30年1月1日～平成30年12月31日		(単位:円)
費目	予算	前年度実績差	摘要	
年会費	350,000	-52,000	年会費(175口目標、前年度並み)	
本部援助金	183,700	0	前年度同額	
同窓の集い会費	542,000	-60,000	70名目標(来賓7名、会員61名、当日キャンセル2名予測)	
広告料	45,000	15,000	3件目標	
寄付・利息	50,000	-21,478		
<b>収入の部計</b>	<b>1,170,700</b>	<b>-118,478</b>		
前年度繰越金	529,276	-128,889		
<b>合計</b>	<b>1,699,976</b>	<b>-247,367</b>		
支出の部				
同窓の集い会費	453,035	-66,653		
総会場・懇親会費	413,035	-48,146	両会場統合、参加者70名(前年度並み)	
その他諸費用	40,000	-18,507		
会報費	350,130	-28,181	A4版24頁全カラー;450部作成	
会報印刷費	285,889	-38,682		
会報配送費	40,241	-759	印刷会社に依頼	
編集雑費	24,000	11,260	前年度並み	
会議費	90,000	-93,311	幹事会年2回及び、準備委員会など	
交通費	87,000	-15,129	本部・5支部	
本部・支部総会参加交通費	15,000	-1,692	遠地支部は祝儀送付	
一般交通費	72,000	-13,437	幹事会年2回及び、準備委員会など	
交流費	140,000	-82,538		
本部・支部総会参加会費	70,000	20,000	本部・5支部総会参加	
同好会援助	60,000	-100,000	支援費一律前年度比半減、支部間交流費は都度	
雑費	10,000	-2,538		
振込み費	10,000	-2,090		
<b>支出の部計</b>	<b>1,130,165</b>	<b>-287,902</b>		
繰越金	569,811	40,535		
<b>合計</b>	<b>1,699,976</b>	<b>-247,367</b>		

# [茨城大学工学部多賀工業会 フォーラム・IN 東京]

幹事長 大泉 雅靖 (昭 40 学精)

## (I) フォーラム開催のねらいと実績

多賀工業会の活性化・会員相互の交流を目的にフォーラムを開催しました。このフォーラムは大学などの学校や研究機関、実業界で経営者・研究者・技術者として活躍してきた多賀工業会同窓の講師の実務経験や人生経験を中心に講話をしていただきました。併せ、講師や参加者との交流・懇親を深め、皆さんの仕事に生活の充実に役立てただけことを目的に開催しました。終了後は講師を囲んでの懇親会を開催し楽しい一時を共有しました。昨年発行の「多賀工業会東京支部会報 20 号」で第一回・第二回開催状況を報告しております。

## (II) 第三回フォーラム・2017/09/15 開催報告

「講師・講話内容の紹介」

### 1) 山崎 慎一郎 氏 (昭和 31 年原動工学科)



茨城大学卒業後、東京大学工学部機械工学科・東海大学工学部機械工学科・国立東京工業高等専門学校にて研究に取り組むとともに多くの学生や研究者の教育指導に努め、現在は国立東京工業高等専門学校名誉教授として活躍しています。専門は熱工学・伝熱工学で「空気膜冷却」「接触熱抵抗」「ヒートパイプ」「地熱エネルギー」等の分野での研究をされました。昭和 45 年文部省在外研究員としてアルバータ大学 (4 ケ月)・ミネソタ大学 (8 ケ月) 出張、教育研究者として評価され平成 24 年には瑞宝小綬章を授与されました。各種講演会・研究会で講師として活躍しており、今回は東京大学でのスキー実験・ガスタービン翼の風洞実験、東海大学での機械実習工場の立ち上げ、東京高専時代の海外研修や学会での活躍や学生の卒研指導で除雪車・雪上車を試作したときなどの多くの人との「出会い」について興味のある講演をしていただきました。

2) 多賀工業会東京支部写真部の第一人者鈴木日出男氏 (30 学原) と東京支部会報表紙写真でお馴染み写真部部长小林 渡 氏 (38 学電) のお二人により「写真を楽しむ」と題し著名な「全日本写真連盟の 林 喜一 先生」が指導されている「撮影の基本」「撮影・レタッチの基本」について、鈴木・小林両講師の国内・海外での入賞・入選の作品をプロ

ジェクターで紹介し実際に指導されました。特にトリミング・シャドウハイライト・ヒストグラムの基本・適正露出・明るさとコントラストの調整・レベル補正の基本的な使い方などレタッチの基本を活用することで作品の出来栄が向上することを実際の作品で指導されました。写真技術の面白さ、奥の深さを講話していただきました。

### 鈴木 日出男 氏 (昭和 30 年原動工学科)



(株) 日本設計にて環境設備設計開発の専門家として活躍されました。現役の頃から積極的に写真活動をしており各種コンテストで入賞・入選しております。特に埼玉県美術展においては 12 年連続計 14 回入選している実力者で、現在は全日本写真連盟会員・埼玉県美術家協会会員として活躍しております。又、多賀工業会東京支部・埼玉支部の写真部の技術指導にも努めております。

### 小林 渡 氏 (昭和 38 年 電気工学科)



(株) 京三製作所にて主に鉄道・交通信号システム機器の設計・開発に関わり活躍されました。定年後に先輩の勧めで写真活動をはじめ全国、県の各種コンテストで入賞、入選しています。現在は全日本写真連盟会員・全日本写真連盟神奈川県本部役員・同旭支部支部長としてまた当東京支部写真部長として活躍しております。又、最もレベルの高い難関な第 78 回国際写真コンテストにおいて国内外プロ・アマの写真家参加のコンテストで入選した実力者です。

## (III) 次回「第四回フォーラム」の開催日程ご案内

日時：2018 年 9 月 15 日 (土曜日)

場所：東京都内・未定

講師：未定、詳細は HP にて後日ご案内します。

連絡先：HP 担当 黒澤 郁雄 (昭 45 学精)

[8my66j@bma.biglobe.ne.jp](mailto:8my66j@bma.biglobe.ne.jp)

## (IV) 「多賀工業会フォーラム IN 東京」講師募集

多賀工業会同窓の皆さんの「私の履歴書」「私の仕事」「趣味」「人生観」「私の拘り」など多方面な講話を募集しております。

連絡先：HP 担当まで

# “ピラミッドとミイラの夢”

坏 弘 (昭 37 学機)



今回はルクソール経由エジプト南端に近いアブシンベル神殿までの旅をした。安ツアーであったがムバラク大統領を失脚させたアラブの春以降欧米からの観光客はいまだ戻らずで、高級ホテルが準備されていた。ルクソール

の王家の谷ではツタンカーメンの墓の内部にも入った。入口から玄室まで下りて行くトンネル状の両壁天井はレリーフやヒエログリフで埋められていた。またカルナック、ルクソール神殿では壮大な石灰岩の大列柱室、花崗岩のオベリスク、同じく花崗岩のホルス神、ラムセス二世像など



BC1500～BC 1100 年の間に建造されたものは皆期待を裏切るようなものではなかった。ピラミッドが建造された BC 2700～BC 1900 年頃は隕鉄を除く鉄器はまだ無かったが BC 1500 年頃には、既にトルコのアナトリア平原でヒッタイトが始めたとされる製鉄技術が伝わっていた様に思われる。この緻密な花崗岩の加工が容易になり、そうした遺跡になって行ったと思われる。ついでながらピラミッドがすべて石灰石できている訳ではなく天井版など内部構造の要には花崗岩が使われているがこれらは恐らく希少な隕鉄を利用して加工されたように想像する。アブシンベル神殿まではアスワンからバスで入る。この神殿は広く知られている通りアスワンハイダムの建設で水没するところをユネスコの援助で現在の地に移設されたものであるが、移設に当たり 1600 何十個かに切断されて運ばれたにもかかわらず、違和感は全然なく内部も見事に復元されていた。またラムセス二世の最愛の王妃ネフェルタリの為に建造されたとする小神殿も大神殿と同じ工法で移設されている。アブシンベル神殿は 90 何歳かまで在位したラムセス二世により建造された物でおそらく BC 1200 年半ばの建設になると思われる。しかし現代に至り軍人上りのナセル大統領は 1970 年にソ連の援助でアスワンハイダムを建設、スーダン側に 150km、全長 500km のナセル湖の出現でヌビアの地は大きく水没してしまったためヌビア人の多くがナセルを嫌ったとか。この為もあってかアスワンにはエジプト軍の大部隊が駐留してハイダムを見守っている。このナセル湖がテロなどで破壊され決壊すると下流に位置するエジプトの大部分が水没してしまうとの事であった。この後カイロ近郊のギザのピラミッド群を訪れた。クフ王の最大のピラミッドが作られた BC 2600 年頃がピラミッド建設の頂点で、小さなものが作られるのも BC 2000 年

ぐらいまで、その後は建設されてはいないようだ。恐らく当初、陽は沈みまた朝が来る、生と死も四季（エジプトの場合、種まき——収穫——ナイル川氾濫の 3 期）と同じように繰り返すものと考えられていたのではないだろうか？そのためにファラオ達は再出現の際往時の権威を保つためピラミッドから現れるのを意図したように思える。しかしその後の盗掘などでピラミッド内に安置された遺体（おそらくミイラ）はピラミッドの中の湿度などで朽ち果て骸骨でしか何も残らない事が分かりピラミッドの建設はなくなったように思える。骸骨からの再生は無いと古代エジプト人も納得したと思われる。BC 1500 年頃から建設され始めたと思

える王家の谷の墳墓では、ツタンカーメンのミイラが地下の玄室に残っている。王家の谷の墳墓とピラミッド内玄室がどう違うのかは



解らないが、建設地の違いからかやはり湿度の問題だろうと思われる。もちろんミイラ製作技術も砂漠気候から自然乾燥で出来たものがより完璧に保存されるよう防腐処理ばかりでなく、内臓や脳ミソが抜かれたりしていった様ではある。当時の古代エジプト人は王をはじめとして、周期は解らないもののミイラとして形骸が残れば必ず再生される時が来ると夢を見ていた様に思える。確かに現代医科学技術は臓器移植を可能とし、シベリヤの凍土から見つけられたマンモスも再現させられるとも言われ、また I P S 細胞で臓器が再生されるのも夢ではなくなってきた。古代エジプト人が概念的にゲノムとか DNA と云った物を持っていたら、もう何千年か暫くミイラのまま眠り続ければ夢がかなう時が来るのかも知れない。1799 年何を意図したか解らないが、ナポレオンは英国海軍に制海権を握られているにもかかわらずエジプトに侵攻しロゼッタストーンを見つけた。比較的新しいプトレマイオス朝時代の物で刻まれていたのは、ヒエログリフとギリシャ語に古代民衆文字で同じことが書かれていた。仏国のシャンポリオンは、そのギリシャ語からヒエログリフの解読に成功した。パピルス紙と象形文字ヒエログリフは BC 3200 年頃から使われだしたと言われている。まだまだエジプト文明は色々な推察はされても解らない域が多い。例えばピラミッドは何のために？また、如何なる工法で平均 2.5 トンの石を 250～300 万個あの高さまで積み上げたか？失業対策でピラミッドが作られたとかだが、王権はどのようなものであったか？今後の発掘、解読などで多くが明らかになる事を望みたい。

## 著者プロフィール

・1962 年:機械工学科卒・石川島播磨重工業(現 IHI)入社  
・2009 年:IHI 退社

# 千葉卓三郎の足跡を訪ねて

小池 利彦（昭 38 学化）



“茨大工化 38 会”という集まりがある。工業化学科を昭和 38 年に卒業した同級生の団体で、毎年一回、観光地巡りをしながら親睦を深め、他にも、時々、ミニ会と称して都心で飲み会を開いている。

何時だったか、ミニ会の席上で拙書“未だ夢ならず”の主人公、自由民権運動家千葉卓三郎の足跡を訪ねてみようという話が出て、私が、この主人公が活躍した五日市（東京都あきる野市）付近に居を構えている関係で案内をすることになった。

千葉卓三郎は、幕末に宮城県伊豆野村（栗原市）に生まれ、戊辰戦争の敗戦で士族の資格を失い、糊口を満すために東京、横浜を放浪した末に東京五日市に流れつき、ここで、教師をしながら、当時、全国に燎原の火のような拡がりを見せていた自由民権運動に没頭し、豪農、豪商の若旦那連中を巻き込んで、この町を民権運動の巣窟に仕立て上げる実在の人物である。

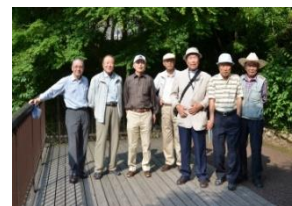
歴史書などで“五日市憲法”と呼ばれている日本帝国憲法私擬草案は、この過程で彼が仕上げたものである。この憲法草案は、東京経済大学の色川教授によって卓三郎の弟子、深沢権八郎の土蔵から、後に発見されたものである。色川教授は、当時、共産党の闘士であったから、この草案が山間の農家の若者達、いわば民衆が農作業の合間に自らの力で作り上げたものであると主張して、この地の名前を冠せて“五日市憲法”とした。しかし、私は、この命名に、些か異を唱えるものであるから、“五日市憲法”という言葉は一切使っていない。この草案は、確かに町の若者たちの集まりで披露され、多少の議論がなされた形跡はあるが、この集りを構成していたのは、町の有力者と豪農、豪商の二代目若旦那衆である。決して貧しい民衆の中から生まれたなどという代物ではない。

この山間の小さな田舎町が何故自由民権運動の巣窟になり得たのか？徳川家康の江戸開府と同時に、江戸の街は爆発的膨張を遂げる。これに伴って、江戸に建築材料や生活必需品である炭材を供給する秋川沿いの五日市の経済は急膨張する。その結果、この町には日本屈指の豪商、豪農が出現する。戊辰戦争直後土佐藩を中心とする、旧士族の不満爆発に端を発する自由民権運動は、後に豪農、豪商を巻きこ

んで全国に広がる。五日市の豪農、豪商の若旦那連中は、金に糸目を付けずに江戸で出版された書籍を買い漁り、猛勉強を始める。千葉卓三郎が五日市に流れ着いたのはこんな時である。

豪農、豪商の代表が、卓三郎の弟子である深沢権八と、最大の協力者であった内山安兵衛である。この二人は、若い頃、民権運動のリーダーである板垣退助が岐阜の演説会場で暴漢に襲われて重傷を負った時、病床を見舞っている。後に板垣は内山、深沢邸を訪ねて旧交を温めている。明治中頃以降、木材以外の建築材料が普及するに及んで、この街は急激に活力を失って行く。内山安兵衛は何の魅力も無くなったこの町を棄てて、逗子に移った。だが、彼を追いかけて町の有力者達は、五日市鉄道建設、五日市銀行設立の為の出資を要請、初代社長と初代副頭取に据える。安兵衛の孫娘は後に、聖心女子大の学長を永く務めた。深沢権八も後に神奈川県議として地域の発展に努めるが、29歳の若さで胃病の為に命を落とす。彼の孫も又、都立立川短大の学長を務める程の秀才であった。

とまれ“38会”の仲間達と、この町の数少ない史跡を廻った後に、町の北数キロ程の青梅に入り、御岳溪谷を散策したのであった。このような歴史の街の散策を通じて、喜寿を超えんとする仲間達がお互いに“俺も頑張らなければ”と気を引き締め、若さを維持する効能は、栄養ドリンクやヤブ医者通いで、とても補完できるものではない。



< 38 会の仲間 >

< 瀬音の湯・足湯 >

## 著者プロフィール

- ・昭和 38 年：小西六写真工業（株）  
（現コニカミノルタ）入社
- ・趣味：郷土史研究、油彩画、囲碁

# 英爺ライダー漫遊記

=坂東三十三観音札所巡礼の巻=

飯塚 英一 (昭46学電)



吾輩は単車である。名前は『格助』、平成15年に御主人・英爺様が乗り始めてからの二代目、年輩向けのスクーター400CCで、お仕えて4年程になる。昨年(平成29年)末に古希を迎えた御主人ですが、手綱仕草は荒く、左右の胴には多くの転んだ傷跡がある。御主人もあちこち傷を受けていると思うのですが、「ボケ防止」と云いながら依然手綱仕草は荒く困っております。

それでは先代『格助』様から聞いていた、観音札所巡礼についてお話したいと思います。それはそれは、供の先代様が悲鳴を上げる程の旅だったそうです。

◇先代『格助』様のお話(1)

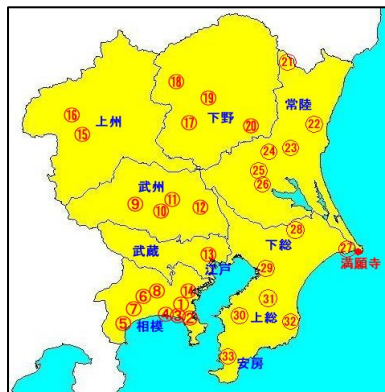
御主人の英爺様は、平成4年頃に観音巡りを始められ、休日や出張などを使って、坂東33札所、秩父34札所、そして西国33札所の百観音巡りをしたとのこと。札所巡礼の[きっかけ]は、大学友人で[さいたま市]在住のO氏の話からと云っておりました。

平成15年に仕え始めてから約3ヶ月の4月中旬、「これから2回目の坂東33札所巡礼に伺う。供をせよ!」との命がございました。供と云っても、その昔、水戸の黄門様の助さん・格さんとの諸国漫遊とは大違いです。英爺主人、自分は水戸の御老公気分、こちら『格助』を駕籠としか見てない。しかし、こちらは仕える身、致し方なく供をすることになりました。

◇先代『格助』様のお話(2)

坂東といっても広うござんす。「北は上州下野・南は相模、東に常陸と安房総州、江戸には浅草金龍山・・・」、嘆きつつも英爺様を背に出立となったのであります!

「こたびの札所巡りは順礼(1番から順に巡る)」と、①番の鎌倉杉本寺から始まりました。御主人の住いの横浜磯子から近く、初日は①から②岩殿寺③田代寺そして④長谷寺の鎌倉・逗子は半日コース。翌日は小田原市



⑤勝福寺、厚木市⑥長谷寺、平塚市⑦光明寺、座間市⑧星谷寺は日帰りの一日コースで、近場で時間余裕もある比較的楽な走りでありました。

それから4日後、武州⑨慈光寺へと引

き出されました。保土ヶ谷BPから関越自動車道を北上して東松山ICから約20kmの⑨番へ、次に⑩正法寺、⑪安楽寺そして岩槻の⑫慈恩寺へと進み、その日は春日部泊でした。翌日は江戸浅草の⑬浅草寺へ直行し、そして地元横浜の⑭弘明寺から帰宅の“ゆっくりコース”です。浅草まで約50km、吾輩も国道4号も順調、1時間ほどで着きました。本堂近くに駐車場がなく、吾輩を仲見世通りの路地裏に置き、英爺様は参拝に行きました。その間約1時間、英爺様が戻って来ると、吾輩の風防に黄色いシールが貼ってありました。「駐車違反シール」でした。吾輩は居眠り休息で全く気付かず。札所巡礼中に罰金、「ウフフ」と密かに微笑んだものです。その後の英爺様の不機嫌面(つら)は云うまでもありません。

◇先代『格助』様のお話(3)

不機嫌面の続く5日後、残り満願までの旅に駆り出されました。上州・下野・常陸・下総・上総から安房に至る4泊5日の長旅です。横浜→関越道→⑮長谷寺⑯水澤寺の後、足利泊。2日目は⑰満願寺・日光の⑱中禅寺・大谷石の⑲大谷寺を巡って宇都宮泊。3日目は益子市⑳西明寺から札所最難所という標高1千mを超える㉑八溝山日輪寺、南下して常陸太田㉒佐竹寺から笠間の㉓観世音寺・㉔雨引山楽法寺・㉕筑波山大御堂・㉖清瀧寺を一気に駆け、その日は鹿島泊でした。翌4日目、鹿島から銚子㉗円福寺・番外の「満願寺」、佐原㉘龍正院、㉙千葉寺そして木更津㉚高蔵寺を参拝後、木更津泊。5日目はいよいよ満願最終日です。懸崖造りの㉛笠森寺、京の清水寺と同名の㉜番、最後に館山の㉝那古寺で満願御礼を終え、走行約1千kmという過酷な旅を終えたのであります(仔細は誌面数頁を要するため略させて頂きました)。後日、満願御礼に信州善光寺と甲斐善光寺の供をしましたことも加えておきます。



『英爺様が何処まで悟ったか?』 多分、古歌にある『悟りとは 悟らで悟る悟りなり 悟る悟りは 夢の悟りぞ』(詠み人知らず)でありましょう。

(下図は幅5尺大の御朱印額です)



## 著者プロフィール

- 昭和46年：(株)日立製作所入社  
(日立工場にて大型回転電機の開発設計)
- 昭和60年：日立本社勤務(防衛技術推進本部)
- 平成15年：信濃電気(株)
- 平成19年：(株)IHIテクノソリューションズ
- 平成25年：退職

# 自分と家族と、携帯の成長

飯高 剛士 (平 10 学情)

## ■1990年代：いざ、モバイルの世界へ



NTT 移動通信網株式会社(現 NTT ドコモ)に入社したのは1998年。ちょうど世の中に当時画期的と言われたiモードサービスが登場する約1年前でした。なぜドコモを選んだか。高校生か、大学生だったころ、実

家でテレビを観ていたときに、当時はやりだだの気がしますが、企業グループ名をただダラダラ流すだけ(失礼)のCMが始まり、ふと目に留まったのがNTTグループのCMでした。内容は、ある人の想いが空間を飛んで伝えたい相手側のディスプレイへとつながり、感覚的に想いが伝わるといふもの。最後に片岡仁左衛門が「さあ、マルチメディアと暮らそう」というCM(※)。そのキャッチフレーズに惹かれ、情報工学、モバイルの世界へと針路を決め、進んできました。

まあ、その程度の想いだけでは入社できるものでもないの、大学ではエージェント技術を勉強しましたと言っ、なんとなく凄そうな感じは出しましたが。

(※今でも You Tube にてご覧いただけます。今でも閲覧するたびに、当時の初心を思い起こさせます。)

## ■2000年代：仕事も家族もよちよち時代

2000年代に入り、仕事も面白くなり、私生活の面でも結婚、家族を持つなど順風満帆に。子供が小学の3、4年のころ、当時、たまたまコンシューマ向けサービスを検討する部門にいたこと、また仕事柄、他の家よりも比較的早く子供たちにも携帯電話を持たせてみました。一番の目的は塾通いや共働きの両親との連絡用でしたが、子供の時代からインターネット、携帯電話が普通にあるこの子達の世代は自分たちが子供のころと、どのように生活が異なり、使いこなすのかを見てみたい、たなぼたに新しいサービスの種でも見つかればよいなとも思っ、てのことでした。

すでに携帯ゲーム機も、テレビなんかネットにつながる時代に生きる彼女らはなんら躊躇せず、それこそ、水や空気のように当たり前のように使いこなす、それも分厚い説明書なんかまったく見ずに、ほぼ直観で。デジタルネイティブな彼女た

ちの順応性に非常に感心したものです。

## ■2010年代：一気に成長期へ

2010年代に入り、携帯からスマートフォン時代へ。そして、子供たちだけではなく、祖父母までもがスマホを持ち歩き使いこなす時代。遠方に暮らす祖父母も交えたLINEでグループを作り、生活の中のちょっとした出来事が簡単にやり取りできるように。

核家族と言われて久しかった時代が、自分たちが子供のときよりもなにか新しい型の密な家族のつながりが出来上がりつつあります。

今年のお正月に、アメリカに住む妹家族との太平洋を跨いだビデオ通話で新年の挨拶をした時などは、20年前に見たCMの映像が重なるようでした。進化した技術が、誰でも意識せず使えるようになり、人と人とのコミュニケーションに役立つ。



<家族の成長とともに移り変わってきたケータイ達>

(記念に2020東京五輪のメダルの材料にする予定)

## ■おわりに

振り返ると、ちょうど自分の仕事の歴史、携帯電話業界の変遷、家族としての、そして子供の成長期がリンクする20年が過ぎようとしています。そのいずれもが日本国内だけでなく、グローバル市場環境にさらされていくであろう次の20年代、どんな未来が待っているか今からとても楽しみにしています。

### 著者プロフィール

- ・平成10年：NTT 移動通信網(現NTTドコモ)入社  
ネットワーク開発およびコンシューマサービス企画に従事
- ・現在：法人向けサービス企画を担当

# 水戸勝田支部の紹介

支部長 飯田陽久（昭 38 学電）



私事ですが平成 10 年代までは東京支部会員としてお世話になりました。この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、水戸勝田支部は昭和 51 年 11 月に 4 番目の支部として設立され、お陰様で平成 28 年に設

立 40 周年を迎えることができました。

水戸勝田支部の活動状況を紹介します。

支部総会は毎年 6 月中旬の日曜日に開催しています。平成 29 年度の総会出席者はピーク時の 42 名と同数を数えました（来賓除く）。これは、平成 25 年以降、若手会員（平成卒業）の参加が増えたことと、常任幹事を増員し総会出席への勧誘を行ったことによるものです。

議事後の特別講演は、これまでは外部有識者に講師をお願いしてきましたが、平成 30 年度は茨城大学社会連携センター准教授・同大学五浦美術文化研究所所員清水恵美子先生を講師に迎え岡倉天心の生涯についてご講演いただく予定です。

懇親会のアトラクションに茨城大学在校生の中南米音楽研究会によるフォルクローレの演奏を試みたところ、好評を博し、平成 30 年度も演奏を依頼しております。



＜懇親会で茨城大学在校生のフォルクローレ演奏＞

支部会報は毎年 4 月に発行しており、平成 18 年卒業までの会員に送付しています。ただし、年会費が 10 年間以上未納、及び総会返信用はがきで会報送付不要の連絡を頂いた会員には、発送を中止しています。

会報は、このほど発足した会報編集委員会メンバーで来年度会報作成に取り組んでいるところです。

クラブ活動として真弓会ゴルフと元気会があります。真弓会ゴルフコンペは、年 2 回 5 月と 11 月に水府クラブにて開催しており、このメンバーの有志が 5 支部懇親ゴルフコンペに出場し、昨年は団体優勝の荣誉に輝きました。

元気会は、平成 10 年 4 月 27 日に発足した同好会で「喋る、笑う、ストレス追放」を目指して「安い費用で、気軽に集まる会」として 1 回／月開催しています。現在は茨城大学社会連携センター会議室を借用し、メンバーが講師役となって科学・技術・法律・教育や健康法など幅広く議論を重ねていますが、時には外部講師による講演会、施設見学会も開催しています。昨年は日立工機（株）の工場を見学し会員の見聞を広げました。



＜元気会（茨城大学社会連携センターにて）＞

当支部も年会費納入者が減少傾向にあり、ピーク時は 200 名を数えたものが平成 29 年度は 105 名に減少しました。財政再建の方策として、常任幹事を増強し、年会費を納入頂ける仲間を増やすことと、平成 30 年度から会報に会員が携わっておられる企業の広告掲載を依頼することにし、既に 2 社からご協力を頂けることになりました。

東京支部様から学ぶことは多々ありますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

## 著者プロフィール

昭和 38 年～平成 17 年：日立照明（株）、（株）日立製作所、他日立 Gr 企業にて一貫して照明事業に従事。

平成 27 年 6 月～：水戸勝田支部長。

# 囲碁部

**部長 田中 栄太郎（昭40学化）**

現在、会員の登録者は、昭和31年卒の先輩から46年卒の方々までの23名で、棋力は八段から3級までいろいろです。

大会は、年に4回2月、5月、11月の第2土曜日と8月の第1土曜日に神田駅近くの碁会所「新いづみ囲碁ジャパン神田」(\*)で行います。

試合は、午前11時から夕方まで、参加者各人が5回対局する方式で熱戦を繰り広げます。

初参加時の棋力は申告制で、ハンディ制を採用

しているのので、段級位にかかわらず、勝つチャンスがあるような運営システムでやっています。

成績次第で、段級位が昇降します。囲碁に関心のある方は、ご参加ください。

会費は2,000円（入場料、運営費を含む）で1位から6位まで（参加者数等による変更有り）の方と実力を発揮できなかった方1名に奨励賞が授与されます（準スイス方式を採用）。

対局終了後、会場近くで、希望者による簡単な懇親会を行っています。

**連絡窓口**

**部 長：田中 栄太郎 TEL 0466-82-4988**

\*\*\*\*\*

平成29年度の大会入賞者（支部会報第20号記載以降）は以下のとおりです。

大会	開催日	優 勝	準優勝	三 位	四 位	五 位	六 位	参加者数
70	2017 05-13	酒井四段 (金44)	田中四段 (化40)	藤沼五段 (機43)	安田四段 (子46)	寺内賢一五段 (電38)	寺内道義六段 (化44)	15名
71	2017 08-05	酒井四段 (金44)	粕谷三段 (電42)	門井三段 (化44)	益子四段 (機38)	飯村二段 (電36)	白石二段 (化38)	18名
72	2017 11-11	酒井五段 (金44)	寺内道義六段 (化44)	小室五段 (金36)	寺内賢一五段 (電38)	山田五段 (電42)	門井三段 (化44)	14名
73	2018 02-10	寺内賢一五段 (電38)	飯村二段 (電36)	阿部四段 (子44)	門井三段 (化44)	佐々木四段 (電38)	藤沼五段 (機43)	17名



第72回囲碁大会参加者（場所：八重洲いづみ囲碁ジャパン）

前列左から：藤沼五段、山下七段、佐々木四段、寺内賢一五段

後列左から：田中四段、山田五段、益子四段、門井三段、兼子二段、柏木2級、

寺内道義六段、酒井五段、阿部四段、小室五段

\*本年2月から上記の様に会場が八重洲から神田に代わりました。お間違えなさいませぬように！！

# ゴルフ部



副部長 佐藤将彦(昭43 学子)

平成29年度活動報告と平成30年度活動計画は次の通りです。(氏名は敬称略及び卒年の「昭」省略)。

ますます、会員の高齢化、及びコンペ参加者特定化がすすみ、コンペもジリ貧になりつつあり、新たなステージ？(近隣支部との合同開催など)を目指さなければならない状況になってまいりました。

## 1. 平成29年度 第32回春季コンペ

- ・開催日：平成29年4月14日(金)
- ・場所：紫CC(紫あやめ)・東コース
- ・参加者：10名(以下、順不同)  
上田正雄(37 学電)、兼子八郎(38 学電)、駒場方耀(38 学機)、磯部亮(38 学精)、大泉雅晴(40 学精)、森田徹郎(42 学電)、青野潔(41 学化)、角田勇(43 学子)、西岡周二(47 学機)、佐藤将彦
- ・優勝：西岡、2位：大泉、3位：青野
- ・競技方法：新ペリア方式
- ・その他：五支部親睦コンペ(東京支部幹事)の選手選考会を兼ねました(原則グロス上位及び、過去実績を鑑み、2チーム8名選出)。



<第32回 紫CC(紫あやめ36)・東コース>

## 2. 平成29年度 五支部対抗懇親コンペ

(幹事担当 東京支部)

- ・開催日：平成29年6月2日(金)
- ・場所：紫CC(紫あやめ)・東コース
- ・参加者：20名(5組)

当支部からは、(Aチーム)小林一(38 学機)、平山隆司(40 学化)、青野潔、西岡周二、(Bチーム)兼子八郎、磯部亮、角田勇、佐藤将彦。残念ながら、栃木支部が不参加なるも当支部の幹事のもと、梅雨に入る前の好天の中、行われました。各位、日頃の実力を遺憾なく発揮し、当支部は2連覇を逃しました

がAチームが準優勝に入り、Bチームは健闘空しく5位の団体戦の結果となりました。個人戦は、西岡氏が5位、小林氏が6位、佐藤氏が7位、平山氏が9位に入りました。又、NPを磯部氏、小波賞を小林氏が獲得しました。次回は、千葉県支部が担当の予定です。



<五支部コンペ 紫CC(紫あやめ36)・東コース>

## 3. 平成29年度 第33回秋季コンペ

(雨天中止)

- ・開催日：平成29年10月13日(金)
- ・場所：GMG八王子ゴルフ場  
冒頭のまえがきにも記しました通り、近隣支部との合同開催を睨んでの交流コンペを予定し、参加を募りました所、結果は6名と相成り、埼玉支部からの2名を加え、8名2組のコンペの態をなさない状況でした。  
上記交流コンペのお返しとして、12月12日(火)に、多賀むさしの会のコンペ(於リバーサイドフェニックスGC)に当支部より、3名(大泉雅晴、青野潔、佐藤)が参加し、平成30年度からの合同開催に向け話し合い、下記のような予定となっております。

## 4. 平成30年度 第34回春季コンペ(結果HP)

(埼玉支部・多賀むさしの会と合同開催)

- ・開催日：平成30年3月27日(火)
- ・場所：リバーサイドフェニックスGC

## 5. 平成30年度五支部対抗懇親コンペ(結果HP)

(千葉県支部担当)

- ・開催日：平成30年6月1日(金)
- ・場所：習志野CCキング・クイーンコース

## 6. 平成30年度 第35回秋季コンペ

(埼玉支部・多賀むさしの会と合同開催)

- ・開催日：平成30年9月予定
- ・場所：紫CC(紫あやめ)・東コース  
上記の態様となりましたが、若手・女子会員の入会、スポット参加を引き続き期待しております！！

連絡窓口 部長：青野 潔 044-954-2573

副部長：佐藤将彦 050-7524-0949

# 山遊会

会長 小森廣樹 (昭 42 学機)

2017 年 5 月、弘法山ハイキング、11 月に山遊会としては初めての町歩き「東京下町歩き」を行いました。その概要を記します。

なお、山行計画ごとに「多賀工業会東京支部」のホームページに掲載して参加者を募集しています。

会員でない方の参加も歓迎します。

## 1. 第 53 回行事 弘法山ハイキング

実施日：2017 年 5 月 24 日 (水) 日帰り

行程：秦野駅→弘法山登山口→浅間山→権現山展望台→弘法山→吾妻山→鶴巻温泉・弘法の湯

参加者：6 名 (敬称略)：山崎慎一郎 (31 学原)、矢野睦男 (32 学原)、兼子八郎 (38 学電)、田中栄太郎 (40 学化)、青野潔 (41 学化)、藤沼隆夫 (43 学機)

<概要> 山遊会としては 2004 年 10 月に続く 2 回目の行事で、今回参加の高齢の 3 名は前回にも参加しているが、前回参加者の一番若い人でも年次は 42 年だったから、今回は前回に比べて 10 歳以上高齢になった集団であった。秦野駅を出発、秦野駅北側の水無川の河川敷、金目川を渡って弘法山登山口から先ずは浅間山へ登った。登り高さは 110m だが、高齢者の団体にもかかわらず快調だった。小休憩後権現山までの半分は平坦、後は登り 50m を歩き展望台へ。ここでゆっくり四方を見晴らす。ここからなだらかな道で弘法山公園を経て頂上へ。ここで昼食をとる。藤沼さんが振舞ってくれた缶ビールで喉を潤した。



<弘法山公園にて>

後は弘法の湯に入ってお山祝いをするだけと昼休みを 35 分ほど切り上げ、鶴巻温泉に向かって下山を開始 (12:15)。弘法山を登って 30 分ほどして行き止まりの道に迷い込んだらしい。分岐点まで戻り、進路を左側に切り替えた。その後東名高速の側道を通り、そんなこんなで道草をくってしまったが、ようやく 14 時近くに弘法の里湯に

到着した。ここで汗を流し、併設のそば屋でお山祝いをして 16:50 解散した。

## 2. 第 54 回行事 東京下町歩き

実施日：2017 年 11 月 29 日 (土) 日帰り

行程：地下鉄森下駅→芭蕉記念館→万年橋→清澄庭園→霊巖寺近辺→扇橋→「味久」→パルシティー江東

参加者：7 名 (敬称略)：小林一 (38 学機)、兼子八郎 (38 学電)、青野潔 (41 学化)、小森廣樹 (42 学機)、森田徹郎 (42 学電)、黒澤郁雄 (45 学精)、鈴木葉子 (62 学化)

<概要> 10 時過ぎ、地下鉄森下駅から隅田川の方へ向かって約 10 分、芭蕉記念館へ。記念館の入口には芭蕉が元禄 2 年奥の細道へ旅立つ前に詠んだ「草の戸も住み替る代ぞ雛の家」の句碑があった。1 階には蕉門十哲のそれぞれの肖像画そして蕪村筆の芭蕉坐像図が展示されている。2、3 階も含めて芭蕉の書簡、短冊等の資料が展示されている。ここを出て万年橋を渡って清澄庭園へ。大泉水 (池) を囲んだ「回遊式林泉庭園」の広い庭園である。大泉水には四つの小島が浮かんでおり、周囲には全国から集められた名石が配置されていた。ここは紀伊国屋文左衛門の屋敷跡で、明治になって岩崎弥太郎が取得し、造園したそうだ。ここを出て霊巖寺に向かう。この寺には松平定信の墓があり、また、大きな地蔵が鎮座していた。江戸六地蔵の一つだそうだ。さらに行けば、広くない道にほとんど軒並に寺が並んでいる。東深川橋、扇橋 (ここから大横川に沿って長い桜並木が見えた)、清州通りを突切り四ツ目通りに入る。12 時 35 分「味久」へ。ここで食事と歓談。

ここから 5、6 分で「パルシティー江東」へ無事に到着した。



<パルシティー江東にて>

### 連絡窓口

会長：小森廣樹 TEL. 045-573-3625  
副会長：青野 潔 TEL. 044-954-2573

# 写真部

部長 小林 渡 (昭38学電)

多賀いちょう写真部は会員14名、年2回の撮影会、本部「こうがく祭」及び「支部総会写真展」へ出展を実施しております。埼玉支部「ワンダーフォトクラブ」と連携し相互の撮影会に参加、技術の向上、親睦を深めております。

平成29年度の活動状況以下の通りです。

## 1. こうがく祭写真展

6月11日(日)に工学部本館で展示し、多くの見学者が訪れました。会員7名、13点展示。

## 2. 初夏の撮影会

6月15日(木)に「鎌倉江の電周辺紫陽花寺を訪ねる」と題して実施しました。天候に恵まれ、紫陽花見頃、特に長谷寺大勢訪れ大混雑でした。参加者18名。



## 3. 東京支部総会写真展

7月8日(土)会員7名、13点展示、サイズはA3に統一しました。

## 4. 第3回多賀工業会フォーラム・IN 東京

9月16日(土)「写真を楽しむ」と題して鈴木日出男(30学原)、小林 渡が写真撮影、画像処理の基本を講演しました。

## 5. 秋の撮影会

11月26日(日)に「開園50周年川崎市日本民家園を訪ねる」と題して実施しました。

紅葉の季節、天候に恵まれ絶好の撮影日より、

古民家を訪ね、囲炉裏、竹細工等見学楽しみました。夜の民家園、みちのく・むかし話「語り部」の素朴なみちのくの言葉に聞き入っていました。参加者12名。



## 6. 写真部総会

3月10日(土)実施。第21号東京支部会報表紙掲載写真選定、2018年度撮影計画・写真展等。

## 7. 会員活動状況

鈴木日出男(30学原)、澤野孝慈(37学機)、小林 渡(38学電)、高橋伸二(41学機)  
全日本写真連盟に属し、各種写真コンテストで活躍しております。

◇鈴木日出男

- ・第67回埼玉県展 入選
- ・第18回さいたま緑のトラスト写真・動画コンクール身近な緑の部 優秀賞

◇小林 渡

- ・全日写連本部・朝日新聞「第78回国際写真サロン」入選
- ・日本写真家協会「第42回JPS展」入選
- ・全日写連神奈川県本部・朝日新聞「第62回全神奈川写真サロン」朝日新聞社賞
- ・同「第1回フォトコンテスト神奈川」入選

## 8. 入会の案内

連絡窓口

小林 渡 TEL/FAX: 045-363-0785

E-mail: koba-wt@nifty.com

黒澤郁雄 TEL/FAX: 045-823-6532

E-mail: 8my66j@bma.biglobe.ne.jp

# 平成 29 年度同窓の集い作品展 出展写真から抜粋



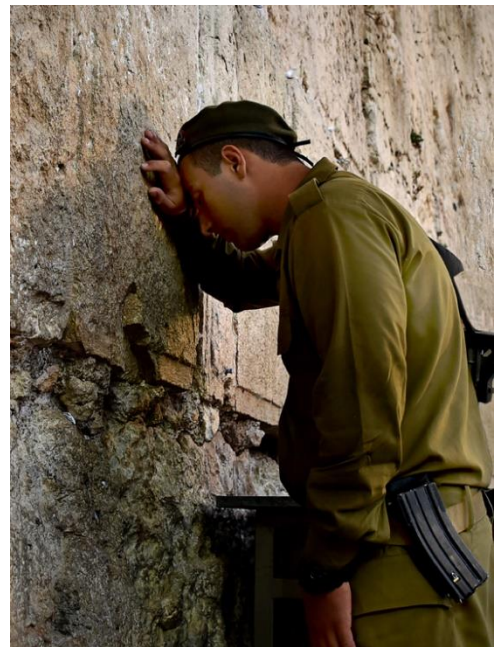
「バザール閉店・バングラデシュ」  
鈴木 日出男 (昭 30 学原)



「この人と一緒・キューバ ハバナ」  
山崎 慎一郎 (昭 31 学原)



「黄金の滝・アイスランド グトルフォス」  
坏 弘 (昭 37 学機)



「平和への祈り・イスラエル 嘆きの壁」  
小林 渡 (昭 38 学電)



「夕暮れの宿場・岐阜県 旧馬籠宿」  
高橋 伸二 (昭 41 学機)



「ある男の像・ポルトガル ボルト市」  
三好 成實 (昭 39 学機)

# 女子会

副会長 鈴木 (旧姓 西村) 葉子 (昭 62 学化)

多賀工業会の皆様、いつも東京支部女子会に温かいご支援をくださり、ありがとうございます。

今年度の活動をご報告させていただきます。

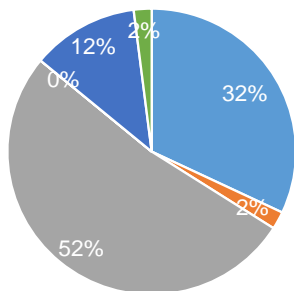
## 1. こうがく祭に初参加

2017年1月に日立で開催した新年会で、学生の女子会に対する認知度を上げる方法が話題になりました。そこで、学生に直接お会いするには私達が大学を訪ねる努力をしようと考え、今年はいこうがく祭へまず参加してみることにしました。

女子会は6月11日(日)に、同窓会写真部の展示場所を一部お借りし、学生や卒業生の立ち寄れる休憩所を開きました。また、来年からの参加方法を検討するため、学生や保護者など来場者に同窓会に関するアンケートを書いて頂きました。

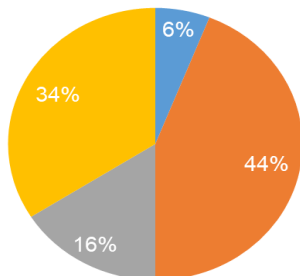
こうがく祭は、今年度から実行委員会を立ち上げ学生主体でのお祭りに生まれ変わりました。地域の方や近隣の高校生も参加して活気がありました。会場を通る方から「女子卒業生の会があるの?」という驚きの声も聞かれ、手ごたえを感じました。約50名に記入して頂いたアンケートの結果は以下の様になりました。

立ち寄り目的



- 休憩のため
- 卒業後について興味があったので
- たまたま通ったので
- 就職についての情報がありそうだったので
- その他
- 未回答

同窓生と学生の懇談会@工学部キャンパス



- あったら、参加する
- あったら、参加するかも
- あっても、参加しない
- 未回答

同窓生と学生の懇談会が工学部キャンパスで開催されたら、参加すると参加するかもしれない方の合計は約50%でした。

## 2. 同窓の集い

2017年7月8日(土)、同窓の集いには、2名の女子会メンバーが参加しました。総会では女子会太田会長が司会の役目を務めました。

懇親会では、私個人としては同じ研究室出身の3名の先輩方から先生の近況などを教えていただき、大変有意義な時間が過ごせました。

## 3. 秋のランチ会

2017年11月18日(土)、渋谷ヒカリエにある話題の店チーズキッチン・ラクレでランチ会を開催しました。参加者は4名。チーズフォンデュがメインの美味しいチーズづくしランチを堪能しました。今回は初参加の方が1名いらっしゃいましたので、感想をご紹介させていただきます。

◇お洒落なお店で、お食事をしながら、楽しくおしゃべりしました。三人の先輩方内、お二方は初対面でしたのに、校舎の思い出や、先生方の噂など共通の話題が沢山あり、すぐに打ち解けられたのが不思議な感じでした。機会があったら、こうがく祭や日立での企画にも参加したいと思います。



〈秋のランチ会〉

今年の同窓の集いは7月14日(土)、こうがく祭は11月の予定です。ご参加をお待ちしております。また、この会報をきっかけに、お気軽にご連絡ください。(男性会員の方もぜひ!)

多賀工業会東京支部女子会 [taga.gyoshi@gmail.com](mailto:taga.gyoshi@gmail.com)

# テニス部

部長 河上弘一（昭 38 学機）

## 1. 平成 29 年 5 月 22 日（月）春季練習会・懇親会

場 所：小金井公園テニスコート

参加者：森永、小室、河上、徳江、村上、金子  
テニス終了後、吉祥寺にて懇親会実施



## 2. 平成 29 年 7 月 8 日（土）「同窓の集い」に参加

会 場：アルカディア市ヶ谷

参加者：森永、鈴江、徳江、矢嶋、金子



## 3. 平成 29 年 9 月 28 日（木）～29 日（金）

### 福島大学とのテニス部交流会実施

場 所：県営あづま総合運動公園（福島市）

参加者：13 名（茨城大：5 名参加）



## 4. 平成 29 年 11 月 11 日（土）：茨城大学硬式

### テニス部卒業生・現役交流戦

場 所：茨城大学テニスコート（水戸）

参加者：卒業生 7 名（東京支部 2 名参加）



## 5. 平成 29 年 11 月 27 日（月）：秋季練習会・懇親会

場 所：小金井公園テニスコート

参加者：森永、小室、河上、矢嶋、山本、斎藤  
村上、大森、岡本、金子の 10 名、  
遅れて参加：鈴江、徳江、佐藤の 3 名  
（計 13 名）



今まで練習会には工学部卒業生しか参加していませんでしたが、今回初めて大森（昭 48 学経済）・岡本（昭 48 学物理）両氏が参加してくれました。また、佐藤氏（昭 48 学電）の初参加と奥茨城にある実家の畑作業のために単身赴任している斎藤氏（昭 44 学化）の遠距離参加もあり、計 13 名の参加となりました。テニス終了後、場所を移して忘年会（反省と H30 年度の計画検討）を実施しました。

### 連絡窓口

部 長：河上弘一 k-kawakami39@jcom.home.ne.jp

副部長：徳江景英 kagehide@tbz.t-com.ne.jp

## HP 編集室より

### HP 編集室長 黒澤 郁雄 (昭 45 学精)

HP 編集室長を仰せつかってから早 3 年。HP に掲載する原稿を各幹事さんから受け取り、幹事さんのご意向を考えながら HP 用原稿を作成してきました。結果的には前に発行した原稿の「お知らせ」・「報告」をコピー&修正しながら、今回の幹事さんの原稿が求めているものは何か探りながら原稿を作成しております。

うれしいお知らせがありました。今年度も一年間一人で〔前編集室長の矢野睦男先輩 (32 学原) の助けを受けています。(笑)〕多賀工業会東京支部の HP 運営をしなければならないと気持ちが落ち込んでいましたが、吉田道廣氏 (45 学電) が HP 副編集室長として HP 運営をして頂けることになりました。一人でないと一人で喜んでおります。相変わらず時々、入力の間違いや、小生が日常入力している習慣で原稿通りの入力が出来ていず、幹事さんにご指摘を受けながら完成原稿を HP 上にアップロードしております。(笑) やりがいは各部からのお知らせで参加者が多く集まったとの報告結果を受け取った時です。小生

の原稿が縁の下の力になっているのだなと感じております。当然ながら会員の皆様のお力添えがあったことは言うまでもありません。

HP の作業をして嬉しいのは会員の方々から日常の情報提供です。部活動の開催・活動報告は定例作業ですが、29 年度は小林渡氏が「イスラエル撮影紀行」を投稿して頂きました。小林渡氏の作品は、日本写真家協会「JPS 展」に「平和への祈り」で入賞を果たしております。当 HP にも入賞作品をアップロードしております。多賀工業会東京支部の会員には凄い方が活躍していることを他の会員にお知らせ出来たことは幸せでした。どしどし原稿を送って頂ければ幸いです。

吉田氏と協力し合いながら、更なるステップアップを目指し頑張りますので、会員の方々のご指導、ご協力をお願い致します。一人より二人での編集作業のレベルアップをしていきますのでよろしく願いいたします。今年度は HP のリニューアルを検討します。一緒に HP のリニューアルに興味がある方は東京支部 HP のトップページから WEB メールにてご連絡をいただければ幸いです。

URL : <http://tokyo.tagakgk.com/>

## 編集後記

### 会報編集室長 金子 芳久 (昭 48 学機)

昨年会報第 20 号発行の後、会報編集の責任者として費用削減に取り組みました。印刷工程とは一体どのようなになっているのか？マスコミに大々的に広告を載せている印刷会社が、何故あんなに安くできるのか？いろいろ情報を収集し、長くお付き合いして戴いている大協印刷さんにも話を聞きながら、一つの案を導き出しました (情報収集に当たり、当支部の幹事であり埼玉支部の副支部長兼会報編集長である白石様にアドバイスを頂きました)。今年度発行の第 21 号から、『全 24 頁・基本的に印刷会社さんは当方提供の原稿を印刷するだけで編集作業はしない

(全カラー・A4・中綴じ・紙質は第 20 号と同じ)』という条件にしました。この条件にすることによって、会報作成の費用は削減できます。しかし、一方で会報編集室側には『ミスの無い完璧な原稿を印刷会社に提供しなければならない』という責任が発生します。一人か二人でチェックするより、できるだけ大勢でチェックした方が良い。ただし、決められたスケジュールの中で効率よく進めなければならない。両方の条件を満たすために、兼子・小澤・加藤 (邦) の諸氏には忙しい中確認作業を引き受けて戴きました。また、幹事会において途中経過報告や承認願い等を通じて意識の共有化が図られたのか、約 80% の原稿は提出期限前に届きました。

皆様のおかげで、会報第 21 号も無事に発行の運びとなりました。どうもありがとうございました。

#### 編集室員

兼子 八郎 (昭 38 学電)	小林 渡 (昭 38 学電)
藤枝 伸一 (昭 45 学子)	金子 芳久 (昭 48 学機)
加藤 清 (昭 50 院精)	柳下 幸夫 (昭 49 学機)
小澤 喜宏 (昭 53 学子)	加藤 邦治 (昭 53 学子)
鈴木 葉子 (昭 62 学化)	二川 克美 (昭 63 院情)

#### 多賀工業会東京支部会報 【第 21 号】

発行 平成 30 年 5 月 26 日

発行者 支部長 小林 一

〒226-0002 横浜市緑区東本郷 3-39-2

TEL 045-473-0928 / FAX 同左

# 平成29年度会費納入者

(敬称略、順不同)

\* 会費ご納入有難うございました。納入された方で記載漏れや間違いがありましたらご寛恕の上、ご連絡お願い致します。また、未納の方はご入金をお願い致します。

(本名簿作成者:名簿編集室 飯塚)

Tel:045-755-1588 E-Mail:elias\_ii.ggr@f5.dion.ne.jp

平成30年1月以降の納入は掲載しておりません。

氏名の前の口は前年度以前の会費後納の方で、中の数字はその後納年数を示します。

氏名の後の〇は本年度以降分納入又は既納の方で、中の数字は前納年数を示します。

昭17専金	坪能 進	昭35学機	高野 久弘	昭38学電	橋本 政巳 ⑨	昭42学精	山本 蕃	昭48学機	宮城 緑郎
昭18専機	山本 栄治	昭36学機	☐ 柏木 尚	昭38学電	綿引 貞男	昭43学機	☒ 遠藤 義和 ②	昭48学機	村上 宗久 ⑤
昭18専金	市島 健男 ④	昭36学機	上月 秀俊 ③	昭38学金	海老原 雄二	昭43学機	藤沼 隆夫 ①	昭48学電	佐藤 知康
昭20専原	友保 伊弘	昭36学機	真下 知行	昭38学化	大塚 進 ②	昭43学電	後藤 豊弘	昭48学化	駒坂 俊樹 ②
昭22専機	佐藤 喬太郎 ①	昭36学機	森永 隆宏	昭38学化	柴崎 康 ②	昭43学子	川野輪 滋美	昭48学精	福島 良信
昭22専金	明石 和夫 ①	昭36学機	横山 馨	昭38学化	白石 道彦	昭43学子	佐藤 将彦	昭49学電	坂本 淳
昭22専金	土屋 敏夫	昭36学機	綿引 憲夫	昭38学化	高木 二郎	昭43学子	鈴木 弘道 ④	昭50学機	松尾 泉
昭22専通	中村 弘	昭36学電	飯村 卓郎 ⑦	昭38学化	矢部 功一 ⑥	昭43学子	角田 勇	昭50学子	松田 実 ①
昭22専通	前田 豊昭	昭36学電	小宅 仁	昭38学精	磯部 亮	昭43学子	野崎 淳一 ⑤	昭50院精	加藤 清
昭23専機	梅田 政夫	昭36学金	鈴江 芳雄	昭38学精	市村 敬司 ②	昭43学子	袴塚 邦彦 ⑧	昭50学精	岸添 義彦
昭23専電	塩野 譲	昭36学金	高信 和明 ②	昭38学精	上野 武彦	昭43学化	池上 毅	昭51学子	庄司 益宏 ①
昭24専通	海老原 和	昭37学機	坪 弘	昭38学精	矢嶋 國男	昭43学精	斉藤 央道 ②	昭52学子	長尾 英則 ①
昭24専舶	杉山 六郎	昭37学機	菊地 耕基	昭38短機	箱山 雍	昭44学子	阿部 正志	昭52学子	福田 光男
昭25専原	忍田 邦夫	昭37学機	野本 光彦	昭39学機	佐川 六郎	昭44学子	野澤 敏矩	昭52院金	武藤 和望 ①
昭26専通	菊地 玲二 ⑦	昭37学機	服部 則男	昭39学電	原 俊彦	昭44学子	吉田 真吾	昭52院金	渡辺 隆
昭28学機	坂場 昭二	昭37学電	上田 正雄	昭39学金	横山 安行	昭44学子	酒井 茂	昭52院精	押野 博明
昭28学機	高田 丈夫	昭37学電	☐ 西川 正登	昭40学機	武田 紀男	昭44学化	芥藤 昭 ②	昭53学子	小澤 喜宏
昭28学電	稲見 孝	昭37学化	☐ 阿部 徳治	昭40学電	手塚 勇夫	昭44学精	菊地 政行	昭53学子	加藤 邦治
昭28学電	橋本 久美	昭38学機	河上 弘一	昭40学電	山崎 輝行	昭45学電	小滝 麟太郎	昭53学情	西部 俊憲
昭28学電	藤田 史郎	昭38学機	小林 一	昭40学金	松本 二郎	昭45学電	永木 利夫 ⑤	昭53学情	高木 利之 ⑤
昭29学原	石橋 弘 ③	昭38学機	駒場 方耀	昭40学化	田中 栄太郎	昭45学電	吉田 通廣	昭54学金	豊田 邦宏 ③
昭29学原	奥野 眞治	昭38学機	桜井 衛	昭40学化	平山 隆司	昭45学子	藤枝 伸一 ②	昭55院電	丸島 國義
昭30学原	鈴木 日出男	昭38学機	丹下 宏	昭40学精	大泉 雅靖	昭45学精	伊藤 茂	昭55学情	松本 博行
昭30学機	小室 敏之	昭38学機	徳江 景英	昭40学精	寺 紘一	昭45学精	長部 弘志 ①	昭56学機	峰村 勝幸 ④
昭30学機	田口 忠夫	昭38学機	豊田 元雄	昭40学精	堀野 州男	昭45学精	黒澤 郁雄	昭56院精	田中 克弘
昭30学機	檜山 邦良	昭38学機	中村 好秀	昭41学機	高橋 伸二	昭46院機	岡本 和彦	昭60学電	太田 悦子
昭30学機	松澤 勝海 ②	昭38学機	長谷川 幸夫 ①	昭41学機	富田 瑞徳	昭46院機	小泉 裕 ③	昭62学機	神作 武志 ①
昭30学電	木村 好延 ②	昭38学電	内田 茂	昭41学化	青野 潔	昭46学電	飯塚 英一	昭62学情	福田 光子 ①
昭30学金	三本木 武	昭38学電	遠藤 喜久男	昭41学化	岡本 實	昭46学電	加藤 昌男	昭62学化	鈴木 葉子
昭31学原	山崎 慎一郎	昭38学電	大久 忠雄	昭41学化	小沼 淳志 ②	昭46学電	狩野 守	昭63院情	二川 克美
昭31学電	大内 孝	昭38学電	兼子 八郎 ⑥	昭41学化	斉藤 保夫	昭46学子	大崎 孝明	平02院金	柴野 直樹 ②
昭31学電	藤川 俊明	昭38学電	熊谷 文男	昭41学化	橋川 隆夫	昭46学子	栗原 功幸	平08学電・子	生井澤 伸秋 ⑦
昭32学原	矢野 睦男	昭38学電	小島 淳	昭41学化	矢島 勝司 ⑥	昭46学子	安田 健博	平08院生	東 學 ①
昭32学機	伊藤 義次	昭38学電	後藤 紀夫	昭42学機	小森 廣樹	昭46学金	今富 久雄	平09学都	小林 靖典
昭32学機	國井 榮次	昭38学電	小林 渡	昭42学機	菅谷 禎男	昭46学金	大井川 勝雄	平09学都	藤井 貴弘 ①
昭32学機	平沢 正一	昭38学電	坂野 栄	昭42学電	粕谷 利夫 ①	昭47学機	高田 洋 ③	平10学機	山本 夏江 ①
昭32学電	山下 正明	昭38学電	佐々木 登喜夫	昭42学電	森田 徹郎	昭47学機	西岡 周二 ④	平13学自科	乾 智彦
昭33学原	吉久保 節男	昭38学電	庄田 幸夫	昭42学電	山田 恵規 ⑥	昭47学子	五十嵐 喜良 ⑩	平19学社科	大江 正敏
昭33学機	奥 康治 ②	昭38学電	橋 弘 ①	昭42学金	小藺井 健 ①	昭48学精	小泉 幸範		
昭34学電	千葉 克男 ①	昭38学電	寺内 賢一 ④	昭42学精	下ノ村 勇 ①	昭48学機	金子 芳久 ③		

合計 198名  
(前納者を含みます)

# 平成29年度ご寄付者

(敬称略、順不同)

ご寄付有難うございました。

昭17専金	坪能 進	3,000	匿名希望	10,000
昭20専原	友保 伊弘	3,000	匿名希望	5,000
昭23専機	梅田 政夫	8,000	集い時御厚志	14,475
昭38学電	佐々木 登喜夫	28,000		

## 年会費納入のお願い

皆様に納入して頂く年会費とご寄付が当支部の主な財源となっております。同封の払込取扱票にてお早めにご入金をお願い致します。ご寄付の場合もこの用紙をお使い下さい。



**casita**  
[カシータ]

# 新しい資産形成の考え方

インカム住宅を建てることで  
自分たちの住む家にかかる支出を0(ゼロ)にする。

戸建賃貸住宅 **casita**

詳しくはwebで。

資料請求、お問い合わせは  
こちらまでお気軽に！



**0120-355-347**

建設業許可番号 / 茨城県知事登録 (特-22) 第 19313 号

日立市多賀町 2-4-6

株式会社 ジュンホーム

茨城大学工学部  
昭41学化  
後援会長



(株) ジュン・ホーム  
代表取締役  
小沼 淳志



## ワイヤハーネス設計・製作

顧客の信頼を得て50年

有限会社 いすず電機工業所

営業品目：少量多品種対応可

- ◇ワイヤハーネス設計・製作
- ◇各種ケーブル加工
- ◇組立配線

本社 日立市東金沢町4丁目-12-7

TEL 0294-36-6835

FAX 0294-35-2505

ホームページ <http://www.isuzudenki.com/>

代表取締役 小宅 仁 (36学電卒)

私たち大協印刷は、

印刷に関わるあらゆるサービスをご提案しております。

ぜひ一度ご相談ください。



**大協印刷株式会社**

〒110-0016 東京都台東区台東2-4-14  
TEL: 03-3837-5291 / FAX: 03-3837-5293 E-mail: info@daikyo-print.co.jp

<http://www.daikyo-print.co.jp>

